

研修報告書 No.10

所 属： 昭和大学江東豊洲病院

研修先： 田野病院

今回、地域医療研修の一環として、2021年9月1日～30日の一か月間、臼井会 田野病院で研修させていただきました。

田野病院は高知県で最東端の有床救急病院であり、84床のベッドが常に稼働率100%を超えているようなところでした。田野町の東側にある奈半利町、室戸市には救急病院はなく、室戸市から田野病院までも自動車でも30分以上かかるような距離です。田野町は高知県で一番小さな町であり、小学校・中学校・高校はそれぞれ1校ずつのみです。

今回の地域医療研修で経験した内容を書き並べ、それに沿って得たものを振り返ります。介護事業では、訪問診療・訪問看護・訪問ヘルパー・通所リハビリの・訪問リハビリの・外来リハビリテーション・デイサービス・居宅たの（ケアマネ；訪問）などです。地域連携としては、乳幼児健診・院外研修などです。田野病院で行っている介護事業の多さに驚きました。またそのなかで、訪問が多いと感じました。実際、一緒に訪問させていただいてまず感じたのはそれぞれの住まいの場所と居住環境があまり利便性は高くなさそうだなということでした。自動車で大通りから細い道に入り、曲がりくねった山道の先に住んでいるなどと、地図を見ないと覚えられないような場所に感じました。居住環境に関しても、浸水防止のため床が高くなっていたり、広いおうちでトイレまで遠かったりと、東京ではみることのできない環境をみせていただきました。そこに高齢のご夫婦で住んでいるとなるとやはり通院はできないなど実感し、近くの親戚の助けがあるかないかでかなり大きな変化になりうると感じました。田野病院が請け負う介護事業のなかで訪問が多いことも絶対必要なことであると感じつつ、やはり同時に人手や時間が絶対的に必要になっている状況を肌身で痛感しました。

また、小児のリハビリをみさせていただくことは今後の学びにも繋がり、貴重な経験でした。OT、PT、STそれぞれのリハをみせていただき、”どのようなリハをしているか”はもちろん、”どのような特徴を持った子がいて、それぞれの特徴にたいしてどんなリハビリをしていくか”を学ぶことができました。希望させていただき、ST見学をできたこともいい経験になりました。もともと恥ずかしながら無知であり、高齢者に対する嚥下機能訓練というイメージしかもっていませんでした。STさんが、TPOに合った対話が苦手という相談で来られた子どもさんや、サ行・ハ行が苦手といった構音障害があるという相談で来られた子どもさんにリハビリを行っていることをはじめて知り、それぞれに合うリハビリを組んでいくむずかしさを知りました。

珍しい疾患の小児患者のリハビリに参加させていただきました。東京では大学病院が近くにたくさんある環境であり、それぞれの専門病院に送ることが多くなかなか幅広い疾患をみることができないことがあります。それぞれの子どもたちが地域で適切にケアされていることを、かなり近い距離感で学ぶことができました。

日々の外来としては、外科外来・小児神経外来・小児科外来・脳外科外来・物忘れ外来・総合診療外来・土曜診療・消化器内科外来・循環器内科外来などです。

外来では、さまざまな患者を診ており、疾患をはじめ、症候や症状への対応もかなり患者に寄り添ったかたちでみているなと感じました。患者さんのみでなく、家族のお話を親身に聞かれる先生方の姿も印象的でした。さらに内科疾患だけでなく外傷の処置をするなど幅の広さにおどろきました。

日々の手技としては、CV ポート・経カテーテル肝動脈化学塞栓療法（TACE）・内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）・手術：直腸切除術、S 状結腸切除術・気管切開・CV カテーテル・エコー検査・ボトックス注射などです。

手術の際には第一助手や第二助手で入らせていただきました。大学病院では、このような大きな手術でそのようなポジションに入れる機会はめったにありません。大変貴重な経験であり、今後の進路への糧となりました。

ほかには、薬剤部・モーニングセミナー（緊急時対応、慢性腎不全、ペインコントロール）・栄養部 NST・小児リハカンファ・脳外科カンファレンス・あき病院カンファレンスなどです。

地域研修を通して、“専門”などと言っていないなと感じました。医師の手広さ、看護師の手広さ、そしてスタッフ全員の手広さに驚きました。また、知識や技術、そして配慮が細かくとても優しくしていただきました。

患者に対して、環境の与える影響も大きいと感じました。田野町周辺は特に海と山がすぐであり平地が少なくて移動も大変で、訪問がないと医療支援を受けられず、また訪問に行くにも容易ではありませんでした。

一か月間を通して、生活面や背景などを含め、多くのことを学ばせていただきました。むしろ、自分の知識不足や経験不足を実感し、無知の知に気付かされました。病院のみなさま、関わっていただいた皆様に感謝申し上げます。